

《ウィーゼル》ネコアルク

(TYPEMOON / フランスパン 月姫、メルティ・ブラッド・アクトカデンツァ
より ネコアルク

航空機による高い戦略機動力を有するものの、降下後は単なる軽歩兵部隊になってしまう降下
猟兵部隊に火力と機動力、そして最低限の装甲を与えるべく開発・配備された車両であり、サイ
ズや武装は全く違うものの、ダブル式の転輪、防弾鋼板の溶接で構成された角ばった砲塔と車体
といった外見は妙に アルクェイド《ティーガー》ブリュンスタッド を想像させる雰囲気
を醸し出しており、車両の構造も至ってオーソドックスなものなのだが、何故かドイツを含む各
国軍事評論家の中ではイロモノ戦闘車両のトップクラスとして認識されている。空輸の便を
図るために徹底的に小型化と軽量化を進めているため、その防御力は小銃弾や砲弾の破片に耐え
る程度であり、他の AFV- 特にメインヒロインともいえる MBT とはまともに戦っては勝負に
すらならないはずである。(1) しかし搭載された対戦車誘導弾の攻撃力と、高い機動力、その
小さな車体による被弾率の低さは決して侮ることはできず、対抗演習では相手役を務める戦車部
隊に茶々を入れるような牽制攻撃を加えたり、度々煮え湯を飲ませている。(2) また、共通車
体によるファミリー化が当然となっている現在、車体や武装のバリエーションも豊富となっ
ており、主力となる偵察、火力支援型の他にも野戦救急車型、指揮車両型などが配備されて
いるが、その搭載兵装に関しては豊富を通り越して無節操ともいえるほどである。20 機関砲
を搭載した偵察・支援型やミラン ATM を搭載した対戦車型はともかくも、空挺工兵に配
備された火炎放射型のような変り種も存在しており、さらには「ロケットエンジンで滑空し
ているのを見た」、「光線兵器を発射しているのを見た」といった証言も出ているが、さ
すがにこれは見間違いや与太の類であると信じたい。

(1) 「肉球並の柔らかさ」等と言われているが、これを運用する乗員はその「柔らかさ」に誇
りとこだわりを持っているという。

(2) 特に独仏合同演習では シエル 装備の戦車部隊と度々対抗戦を行っており、シエル 部
隊が全滅との判定を受けることも珍しくは無い。特に 1 台だけだと判断して追撃したところ、
隠れていた多数の車両がウジャウジャと現れた上で、集中砲火を浴びて撃破される。とい
うケースが多いようだ。

性能諸元

全長	? m	全幅	? m	全高	? m	重量
10 t (?) 乗員		2 名	最高速度	70km (?)	搭載兵装	20 機関砲 (偵察 型) バリエーション 偵察・支援型
		装甲救急車型		指揮車型		対戦車型 (ミラン ATM を搭載) 火炎放射型備考

大型輸送ヘリに 1 機、A380 に 3 機が搭載可能

史実のウィーゼルというよりはマルダー歩兵戦闘車を小型化して、空輸可能なサイズにした感
じ。形状は「兵隊元帥欧州戦記」に登場した He162 サラマンダー 地上襲撃機 (軽戦車) が一番
近いかもしれません。